

令和元年度（2019年度）
第4回公共事業評価専門委員会
会 議 録

日 時：令和2年2月6日（木）13：30～14：30

場 所：道庁別館庁舎9階 第2研修室

【出席者】

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委 員 長	内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
副委員長	山本 忠男	北海道大学大学院農学研究院講師
委 員	玉堀 ひろ子	玉堀司法書士事務所
委 員	渡部 要一	北海道大学大学院工学研究院教授

【事務局(北海道)】

総合政策部政策局計画推進課長

齋藤 幹夫

総合政策部政策局計画推進課主幹

小林 有

建設部建設政策局建設政策課政策調整担当課長

鈴木 邦明

建設部建設政策局建設政策課主幹

今堀 浩一

ほか

1 開会

2 議事

(1) 過年度評価対象地区の事業完了後の報告について（報告）

【総合政策部計画推進課】

本報告の目的について、事前評価を実施した事業が、事業目的・目標どおり、的確に達成されているか、確認するため、事業完了後に「完了実績」や「事業効果等」を調査し、本委員会に報告するもの。

今年度の報告に当たっては、昨年度の報告において指摘のあった「地区毎における表現の工夫」や「ネガティブな意見も含めたアンケート調査の反映」などを踏まえ整理した。

また、事業内容や成果・効果のほか、整備前後の写真を対比するなどの工夫をした。

それでは、農政部から詳細な説明をさせていただく。

【農政部農地整備課】

（資料1に基づき説明）

《 審 議 》

【内田委員長】

整理番号5番について、87戸を対象にアンケートを実施しているが、回答が42戸ということで、事業によっては回収率が低いものがある。拒否されたのか、時間が取れなかったのか、全戸から回答を得られなかった理由が知りたい。

【農政部農地整備課】

1戸ずつ説明してアンケートを回収できれば一番良いが、戸数が多いと時間がかかるため、郵送で回答を求めている。

無回答については再度お願いできれば良いが、回収率の低い地区があるので、今後は、もう少し回収できるよう進めていきたいと考えている。

【内田委員長】

税金が投入されているので、全部回答してほしい。

次の事業に向けた改良点等の意見があると思うので、受益者に協力して頂き回収率を高めてほしい。

【農政部農地整備課】

完了後にアンケート調査があることを、事業実施前など機会ある毎にお話しさせていただき、回収率の向上に努めていきたい。

【山本副委員長】

整理番号6番について、最終のB/Cが1.0を切りそうな状態。他の地区も下がっている地区もあるが、ここは特にB/Cが低いので説明してほしい。

また、資料中の「時点の変化」の意味についても説明してほしい。

【農政部農村計画課】

事業効果の算定の中では、毎年効果算定に用いる係数をそれぞれ調べて基礎資料としているため、その時点によって単価が違う。また、事業採択後に計画変更の手続きを行った時点で、作物の現況単収の考え方を計画変更時点の直近5年の平均単収で算定する等、基礎的な諸元の時点の考え方が変わってくることにより、効果算定の中身が変わるという状況になる。

【山本副委員長】

整理番号6番について、2回計画変更を行っているか。

【農政部農地整備課】

この地区は6回。

【山本副委員長】

途中で評価する要件ではないのか。

【農政部農地整備課】

該当するものではない。

【山本副委員長】

最終的に大幅に増えているように感じる。

【農政部農村設計課】

令和元年度の公共事業再評価における一次政策評価の実施方針によると、公共事業に係る再評価の対象は、3（2）アの規定により、30億円以上の増額が生じた地区。

同じくウの規定により、10億円以上の増減が生じた地区のうち、事業内容に大幅な変更（目的・事業の手法・施設規模等）があった場合と定められており、その中で特に必要と認める地区とされていることから、整理番号6番の名寄東地区については、10億円は超えているが、受益の範囲や工種内容に大きな変更がないことから、大幅な変更には該当しないと考えている。

【山本副委員長】

評価の対象でないことは理解したが、どのような理由で変更になったのか。

【農政部農地整備課】

総事業費の変更の欄に記載しているが、全体の受益面積やエリアはほとんど変わっていない。しかし、地域から想定以上の離農が生じ、農地を引き受ける農家の経営規模が拡大した。

その結果、更なる省力化が必要となったため、大区画化することによる切盛土量の大幅な増に伴い、総事業費が増えた。地域でかなり離農が進んだということで、担い手が農地を集積するに当たり、当初計画から大幅に農地を増やさなければならなくなった。

【内田委員長】

それに関連して、事前評価時には整備をしたいと言っていた農家が、事業を実施しているまでの間に離農したということか。

【農政部農地整備課】

地区外で持っている農地も集約するというので、地区内で整備をするところを大きくしたいという話があり、結果的に事業費が増えた。

【内田委員長】

あまり望ましくないと思う。

【玉堀委員】

その分担い手農地集積率は、概ね向上している。離農された分も工事費の増大は招いたかもしれないが、その代わりに農地が守られているのではないかと思う。

【渡部委員】

資料の作り方について、今年の資料は文字ばかりではなく、写真があつていいと思うが、写真に関する記述で「余剰労力を活用し、6次産業化の取組や高収益作物の直売が実施された」とある。書いてあることはいいが、ここに6次産業化の取組の写真を載せるよりも、ほ場の状態を、より多面的に捉えたかどうかを見せてほしい。その方が、事業の評価に繋がると思う。

また、資料が同じように作られていて、地区毎の特徴が分かりにくいのでもう少し工夫してほしい。

【山本副委員長】

整理番号7番の資料中の「工法変更に伴う総事業費の増加」について、具体的なことは分かるのか。

【農政部農地整備課】

公共牧場の道路工の法面保護や道路側溝の工法が変更になったため、事業費が増になっている。もう一つは、家畜保護施設の基礎として軟弱地盤が判明したため、机基礎が追加となり、当初想定されなかった現場条件の変化があり、事業費が増え、B/Cが変化した。

【内田委員長】

多くの地区で「余剰労力を活用し」という記述が出てきている一方で、収穫収量が変わらないという意見も散見される。収穫収量が変わらなかったのはなぜか。同じ整備をしても効果に差が出るのか。

【農政部農地整備課】

完了間際に工事したほ場は、すぐ収量に繋がりにくく、アンケートは事業工期の間で工事した皆さんに取っているため、完了間際に工事を実施した人の回答も含まれている。

また数年後に今回のアンケートで収量が変わらなかったところが、どういう状況かは確認をしていきたい。

【内田委員長】

実施した時期が直前だったので、効果がまだ出てないと考えられるのか。

【農政部農地整備課】

収量は変わらなかったと記載しているが、作業時間では、十分時間短縮の効果があるという意見をいただいている。作物の収量が上がらなかったというのが全てではないというのが農政部としての考え。

【内田委員長】

収穫が減ったという意見は出ていないのか。

【農政部農地整備課】

そういった意見は出ていない。

【玉堀委員】

収量は変わらないとしても、少しゆとりができたおかげで、他のことも着手できているように思う。効果はこれから出ればいいと思う。

水管理とかも非常に好評ですね。

【農政部農地整備課】

受益者から評価していただいている。

(2) 令和元年度公共事業（大規模事業等）事前評価対象地区の分担

【総合政策部計画推進課】

今年度の事前評価について、令和3年度に国費要望を予定している事業費が10億円以上の30地区が対象となった。ジャンル別では、農業農村23地区、道路3地区、砂防1地区、住宅3地区。

農政部所管事業は、整理番号1～23番の23地区、建設部所管事業は、整理番号24～

30 番の7 地区。

委員全員でヒアリングを行う「全員評価地区の事務局（案）」と、各委員で対象地区を分担してヒアリングを行う「委員担当地区の事務局（案）」について説明する。

全員評価地区の事務局(案)について、30 地区の中で事業費の大きい2 地区を選定した。

整理番号 25 番 火山砂防事業費 富良野川（上富良野町） 事業費：180 億円

整理番号 29 番 道営住宅建設費 啓北（旭川市） 事業費：82 億6 千4 百万円

次に、委員担当地区の事務局（案）について、各委員の専門分野や対象地区所在地の集約等を考慮し、各委員4 地区又は5 地区になる分担とした。

《 審 議 》

【山本副委員長】

整理番号 25 番について、事業費は大きいですが、事業内容は単純なのは。

【総合政策部計画推進課】

令和元年度第3 回公共事業評価専門委員会において再評価となった同地区の別の砂防堰堤は、全国的にも施設の規模が大きく、標準的な設計計算で設計できないもの。

今回の事前評価も同様なことが予想され、高度な内容の事業となるため、全員評価地区として選定した。

【山本副委員長】

了解した。

【内田委員長】

事業費が大きいもの以外に、B/C が1 に近いものをみてみたいが、算定中というものは。

【総合政策部計画推進課】

農政部所管の事業は、例年この委員会では算定中とされていることが多く、建設部の富良野川は難しい事業のため算定中とさせていただいている。

【内田委員長】

審議する時までには、B / C は算定されるということによろしいか。

【総合政策部計画推進課】

そのとおり。

【内田委員長】

他に意見がなければ、全員評価地区及び各委員の担当地区の分担については、事務局の提案どおり決定する。

今後、各委員には、担当地区のヒアリングを実施していただき、前回の評価と同様、審議地区と専決地区を決め、審議地区については、委員会で重点的に審議することとし、専決地区については、各委員から報告をしていただくこととする。

《審議結果》

全員評価地区及び各委員の担当地区について、事務局案のとおり了承する。

3 その他

(1) 令和元年度公共事業（大規模等）事前評価に係る今後の予定スケジュール

【総合政策部計画推進課】

(資料3に基づき説明)

《 質 疑 》

特になし

4 閉会